

もみじ

—広島山岳・スポーツライミング連盟会報—



一般社団法人 広島山岳・スポーツライミング連盟

〒733-0011 広島市西区横川町 2 丁目 4-17

電話・FAX (082) 296-5597

E-Mail: hgakuren@lime.ocn.ne.jp

URL: <http://hiroshima-gakuren.or.jp>

郵便振替口座 01380-6-37958

題字デザイン 今村みずほ

編集 西部伸也

本号内容

1. 登山教室 (2 年 9/7~8 くじゅう連山、1 年 9/15 窓ヶ山、岩稜クラス 9/15 寂地山(犬戻し)) 報告
2. 県民ハイキング (9/15 小室井山) 報告
3. JOC ジュニアオリンピックカップ (9/14~16 富山県南砺市) 報告
4. 第 1 回写真展 (9/17~22 NHK ギャラリー) 報告
5. 岳連例会山行 (9/29 冠岳・三倉岳) 報告
6. 韓国大邱訪問〈八公山岳祭・山岳マラソン大会〉(9/26~30) 報告
7. 国体 S C 競技 (10/4~6 茨城県銚田市) 報告
8. 全日本登山大会 (9/28~30 岐阜県高山市・下呂市) 報告
9. 岳連短信 (寄贈御礼、10~11 月行事案内、「平田恒雄さんを囲む会」報告、山岳・S C セミナー案内)

1. 登山教室報告

(指導部長 森本 覚)

第 6 回 2 年生 9/7(土)~8(日)

登山形態: テント泊山行

山城: くじゅう連山

人数: 9 名 (スタッフ含)

今回の 2 年生は岩稜歩きの実践でくじゅう連山に行ってきました。台風の影響が心配でしたが天候に恵まれ予定通りの山行ができました。

『くじゅう連山での山行を終えて』

(登山教室 2 年 吉川 智重子 写真も)

腰痛後初めての泊りだった 2 週間前の一年生での山行で、夜ほとんど眠れず最後の最後でみんなに荷物

を持ってもらうことになった。それから日が経ってなくて、しかも長距離の車移動で緊張しながら参加する。案の定、行き車では座骨が痛く、正座など色々体勢を変えながら現地に着き車で仮眠をとる。

一日目、台風が来ると言われていて心配していたが、天候は曇りで景色の見えない中登り始める。久住山頂上付近まで行くと風が強く、立っているのもやっと…という中 2 番手で先頭になる。メンバーの一人は途中足がつったので、スタッフと先にテン場に向かう。私も帰った方がいいのでは!?! と思いながらも何も言われないのでまあ進もう…と思い進むが、風をよけるの大丈夫か!?! というので頭がいっぱいで、あまり景色は覚えていない。久住山まで戻り、下りは仲のいい仲間が後ろにいたので、疲れてきて足も痛くなったが、たわいもない話をしながら気がまぎれなんとか進めた。夕食『チリコンカン』は早く作れて味付けもよく、ボリュームもありとても良かったです。

二日目、眠れるかどうかドキドキしながら入眠したが、今までのテント泊の中で一番ぐっすり睡眠できた。朝食を済ませて大船山へ…。4 時出発でヘッドライトをつけていても見えにくく真っ暗な中、今回 2 度目の先頭。石がゴロゴロしているので足元も見なくてはいけないし道も探さなくてはいけないので大変だった。山頂付近に着く頃には日が昇り天気もいいし、自分自身の調子も良く景色を見る余裕が出てきた。頂上で先に登っていた人に、全員の集合写真を撮ってもらう。下りでは又石がゴロゴロしていて足が痛くなってきたが、坊がつるに着きテントを片付けている間に又少し回復する。長者原までの道のりもドロドロだったので、転ばないように神経を使って降りた。腰痛後初め

で最後まで歩ききれ少し自信回復できたと同時に、予定時間より早くゴールでき、温泉に入り、とり天も食べて帰れ、今までの教室の山行の中で一番楽しい山行になりました。スタッフのみなさん、同期の皆さんありがとうございました。



第6回1年生 9/15(日)

登山形態：日帰り山行

山城：窓ヶ山

人数：8名 (スタッフ含)

今回の1年生は読図講習で窓ヶ山に行きました。各自事前にウエイポイントを記入した地図を持参し現地に入りました。天気も良くクロスベアリングに最適でしたのでしっかりと練習できました。

『9月の山行を終えて』

(登山教室1年 大塚 祐司)

広島市内での最高気温が 32.8 度を記録するなど、季節の割には暑さを感じる一日となった。

今回のテーマは、「読図をしながら歩く。今どこに居るか確認しよう!」ということで、いつもより地図を意識しながらの山行となった。

出発後1時間ほどで東峰に到着し、今回のテーマである読図を行った。クロスベアリング法について、丁寧に解説を受け、受講生がそれぞれ自分のコンパスを使って実践をしてみた。同じ目標物を定めての実践であったが、それぞれとらえる感覚、表現が違っており興味深く感じた。いろいろ苦戦しながら、最後には受講生全員がクロスベアリング法による大まかな現在

地の特定をすることが出来た。その後、西峰でも同じ目標物を使ってクロスベアリング法を試した。受講生は苦戦しながらも、東峰の時よりはスムーズにこなしており、だんだん慣れていく様子がうかがい知れた。

その後、二ヶ所ほどルートが分かりにくい登山道があったが、いずれも先頭を行っていた受講生が見事に地図を読み取り、迷うことなく正しいルートに進むことが出来た。地図を強く意識していたからこそ、正確なルートを探すことが出来たように感じた。

また、今回の山行では、受講生の一人が熱中症のような症状とそれに伴う足の攣りを発症した。CL、SLが適切、迅速に対応し、なんとか自力で下山することが出来るまで回復した。当該受講生は本当に気の毒だったが、レスキューの現場を間近に見れて、大変勉強になった。幸い予後は良好で、10月の山行は参加できる見込みとのことで一安心した。



(写真提供 森本 覚)

第 2 回岩稜クラス 9/15(日)

登山形態：沢登り

山城：寂地山(犬戻し)

人数：9名 (スタッフ含)

岩稜クラスの2回目も沢登りに行ってきました。前回より少し滝の高度があるので慎重なロープワークで通過しました。

『感想文』

(登山教室岩稜クラス 神崎 直剛)

今月はじめごろ台風が広島に上陸し、涼しい日があったので、寒さ対策を色々考えて水はけの良いインナーシャツを用意しました。寂地峡に集合してみると皆さんそれぞれ対策されていましたが、天候に恵まれ、程よいコンディションで沢登りが出来ました。

そして今回は、GOPRO で自撮りもチャレンジしてみました。編集が大変です。

犬戻しの滝では、滝すべりをしました。もう何年も水遊びをしなかったもので、鼻から水を吸ってしまい大変でしたが、スリルがあり楽しかったです。ただ、コケが服について洗濯が大変でした。

ロープ実戦では、ここだけの話ですが、カラビナの掛け替えの時、手順を錯覚してフリーになった時があり、自分で何やっているんだろうとびっくりしました。

その後、上原さんから、カラビナの掛け替えの時セルフは、フィックスロープに掛けたのではテンションが懸からないので、フィックスロープではなく、自分のスリングに掛けることを教わりました。頭で理解できても実践で失敗しないように、何度も練習やイメージトレーニングが必要だと思いました。

また、最後のロープで順番を待っているとき上原さんから、「もうこれぐらいの沢は人を連れてリード出来るぐらいにならんといかんから、その為には、ただロープをたどって登るのではなく、何処に支点をどのように掛けているのか、確認しながら登りなさい。」と教授していただきました。いつも会社で、後輩に言っていることですが、まったくだなあ～と思いました。

これからまだまだ色々な事を知り、色々な事が出来るようになったら、幅が広がり益々楽しみが広がります。次回の岩淵山も楽しみです。



(写真提供 松本 正和)

2. 県民ハイキング報告

(広島県庁山の会 松井 秀樹)

期日：9月15日(日)

場所：廿日市市吉和 小室井山(1072m)

コース：もみのき森林公園公園センター(10:30)～ブナ・ミズナラ(東側尾根)コース～山頂(11:50/13:00)～水内川源流～湿原コース～公園センター(14:10)

担当：広島県庁山の会

参加者：一般参加者18名、担当団体19名、担当団体以外会員13名 計50名

行動時間：植樹・昼食・休憩を含め3時間40分

以下概要

第34回県民ハイキングは、3連休の中日、9月15日に、県庁山の会の担当で、廿日市市吉和のもみのき森林公園内にある小室井山で行われました。県庁山の会は、4年連続、この山でハイキングと山頂での植樹を行っています(去年は台風のため中止)。マンネリと言えばマンネリですが、3年前に自分が植えた苗が、ちゃんと育っているか見に行くのは、それはそれで楽しいものです。

さて、今年は、暑すぎず寒すぎず、ちょうどよいハイキング日和となりました。モミノキやブナ・ミズナラの森の中、ちょっとしたアップダウンが続くものの、急なところのあまりないコースはまさに「ハイキング」。担当したワンポイントレッスンは「地図の読み方」で、説明自体は開会式の中で行いましたが、配付した地図には要所要所に「A」「B」「C」という記号

を付しており、そして実際現地にも同じ札を下げおきました。このため、それぞれの地点で、班の中で詳しい方が詳しくない方に地図を見ながらレクチャーしていたり、子どもたちが「もうFまで来た、あと少しじゃ」と地図を確認していたりと、これは大変好評でした。

山頂に着くと、恒例の旧吉和村の花「レンゲツツジ」の植樹です。今年はこれまでよりも南西の斜面に植樹します。植樹する場所を作るために山頂の松が伐採されていたため、これまでよりも羅漢山の方の眺望がきくようになっています。硬い土を掘るのに悪戦苦闘しながら、また皆で協力しながら、無事に植樹は終了。山頂はレンゲツツジにとって必ずしも暮らしやすい環境ではないそうですが、無事に育ってくれることを祈ります。

食事のあと、皆で集合写真を撮って、下山。皆さん大きなけがをされることもなく、無事、14時30分に終了しました。高原の穏やかな気候の中、歩きやすいコースで、皆さん満足していただいたものと思います。

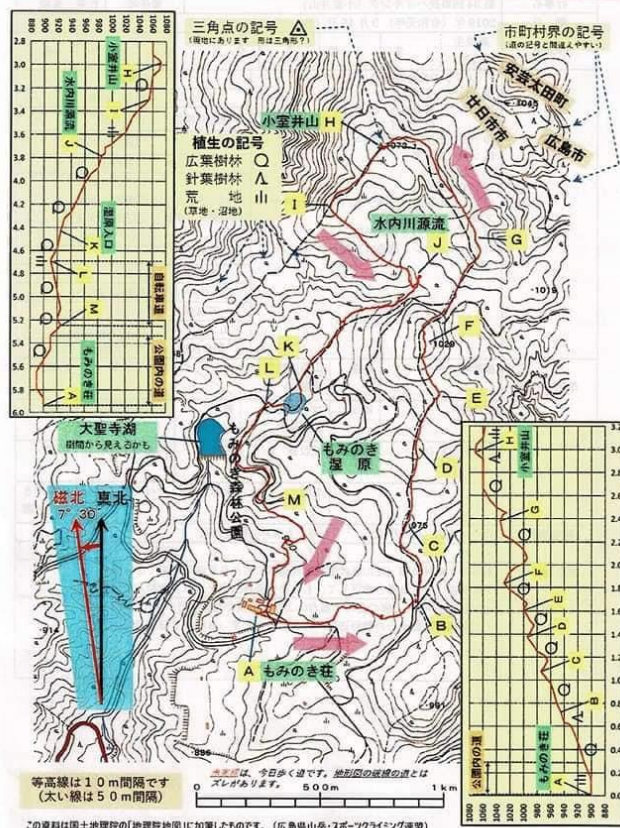
なお、恒例の豊田理事長による歴史解説は、豊田理事長欠席のため、今回は行われませんでした。

最後になりましたが、苗の準備、バスの手配、前日準備及び当日の運営等にご尽力いただきましたNPO法人ひろしま人と樹の会と、そのメンバーの櫻井様に厚くお礼を申し上げます。



山頂記念写真・地図読み・植樹

県民ハイキング 小室井山 「地図、地形の見方」資料①



当日用意した地図 (実物はA4サイズ)

3. JOCジュニアオリンピックカップ報告

(競技部 田坂 耕一)

今回で第22回となるJOCジュニアオリンピックカップ南砺が9月14日～16日に開催されました。

広島県からはJMSCA推薦枠で2名、都道府県岳連/協会推薦で3名、合計5名の選手(ユースA男子:延近陸空斗、ユースB男子:田坂桔平・大下賢実、ユースB女子:大藪杏理奈、ユースC男子:香川葉津)が出場しました。

例年はお盆休みに開催されるこの大会ですが、今年はIFSCクライミング世界選手権2019八王子の期間と被る為日程が変わり、移動含め例年より大変なものとなりました。

一方、毎年大変暑い中での競技・観戦が今年は少し楽かなと思ってましたが、2日目の女子課題でホールドを持って火傷するというアクシデントが発生するくらい会場周辺は温度が上がって選手も大変そうでした。

そんな中、広島県の選手はユースBの大下君が決勝

に残り 8 位と健闘しました。

来年からは開催地が変わると言われているこの大会ですが、来年以降も決勝に残り上位入賞する選手が広島から出てきてくれる事を期待しています。

4. 第 1 回連盟写真展報告

(写真展担当 西部 伸也)

9/17(火)～22(日)、広島市中区大手町のNHKギャラリーで第 1 回広島県山岳・スポーツライミング連盟写真展が開催されました。

この写真展は、昨年まで 17 年間、連盟所属団体の『ひこばえ』が毎年開催してきたものを、昨年度末の同会の解散に伴い連盟が引き継ぐ形で実施したものです。

連盟としては初めての試みで、当初は出展応募も少なかったのですが、応募作品規定を見直すなどして、最終的には 15 名の方から 36 作品を出展していただきました。作品(出展者・所属団体)は以下の通りです。

(順番は出展申込順)

①環水平アーク(久保田征治 FCC) ②深入山北斜面滑降 ③カラマツ林と杉林(以上 西部伸也 タンネンクラブ) ④冷風の木谷沢溪流(京オ昭 広島山岳会) ⑤大山(森本覚 FCC) ⑥秋の尾瀬 ⑦黎明富士 ⑧暁の富士 ⑨安達太良山の紅葉 ⑩山装う(以上 小方重明 広島三峰会) ⑪スコトン岬 ⑫ローソク岩 ⑬チシマフウロ(以上 坂谷一彦 福山山岳会) ⑭新緑 ⑮夕照 ⑯ご来光 ⑰モルゲンロート ⑱紅葉 ⑲冬の霧 ⑳雪山(以上 江種幸男 福山山岳会) ㉑タムセルク ㉒エベレスト(以上 笹田行雄 旧ひこばえ) ㉓ヒマラヤの白い女神 ㉔タクツァン(以上 亀井且博 広島山岳会) ㉕ヤマドリ 1 ㉖ヤマドリ 2(以上 吉見良一 広島山稜会) ㉗細見谷(廣田忠彦 広島山稜会) ㉘初恋 ㉙勇気(以上 小田純子 広島県庁山の会) ㉚八合尾根 ㉛雲月山山焼き(以上 福永やす子 東広島山の会) ㉜安曇野の代掻き ㉝山頂を目指して ㉞恐羅漢山を下る(以上 寺田正弘 タンネンクラブ) ㉟槍ヶ岳 ㊱裏剣の秋(以上 植杉清三 竹原山岳会)

6 日間の会期中延べ 305 の方に来訪いただき、その 8 割方は連盟会員でない一般の方でしたが、多くの方から「素晴らしい写真ばかりだ」という声をいただ

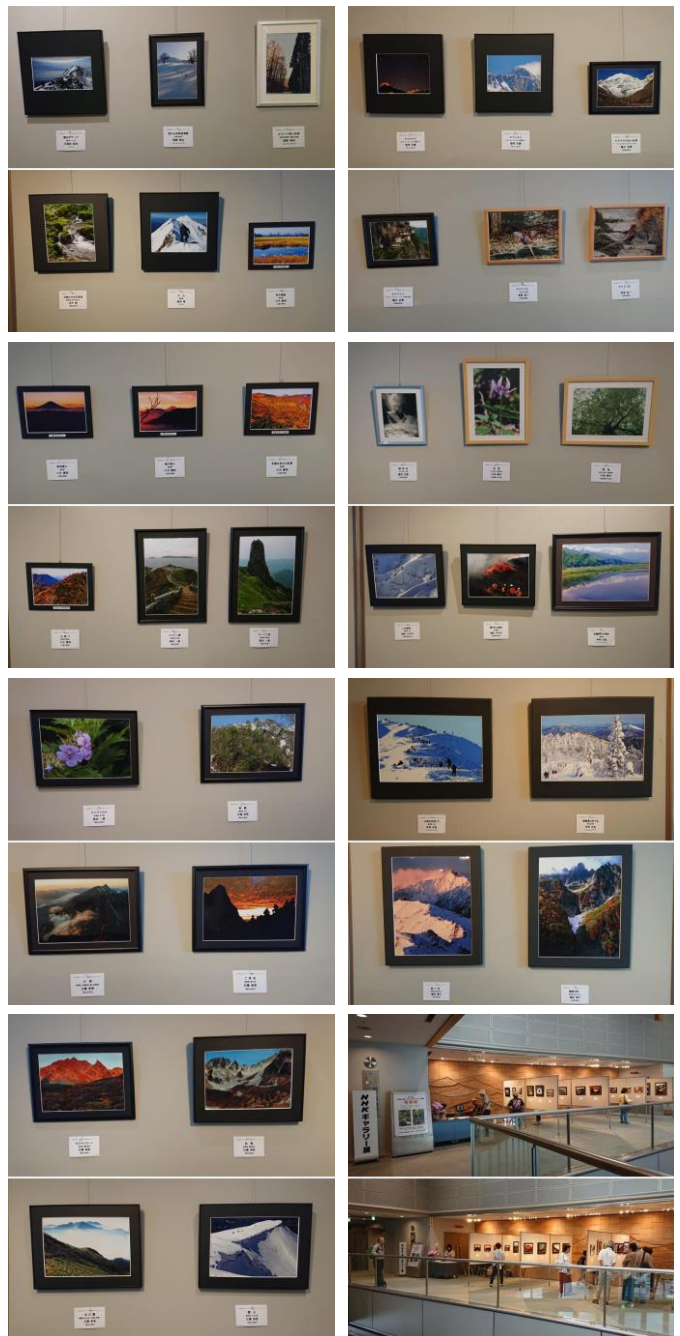
きました。

会場では 136 人の方からアンケートを提出してもらいましたが、植杉さんの『裏剣の秋』、寺田さんの『安曇野の代掻き』、小方さんの『安達太良山の紅葉』などが特に好評でした。

また、会場ではパソコンで江種さんの「フォト俳句」も映していましたが、これも好評でした。

写真展担当・出展者以外で受付当番に協力頂いた広島山稜会の奥富久枝さん、ありがとうございました。

写真展は来年以降もぜひ継続したいと思っていますので、会員の皆様の積極的な出展を期待しています。



出展作品 左①～⑳ 右㉑～㉞と会場の様子

5. 岳連例会山行報告

(指導部長 森本 覚)

9月29日(日) 三倉岳～瓦小屋山～冠岳～小瀬川ダム
参加人数：9名(スタッフ含)

今月の岳連例会山行は後藤副会長が不在でしたので、指導部のスタッフが担当しました。私も当分例会に参加していなかったのが顔を出してみました。雨の天気予報からルートの変更も考えていたのですが、当日は天気に恵まれましたので計画通りのルートが歩いてみなさん満足された様子でした。写真は最後のピーク冠岳の山頂です。

『感想文』 (個人会員 加藤 裕子)

9月29日雨予報ながら、とても快晴に恵まれて、やはり私は晴れ女です(笑)

大好きな三倉岳、汗だくになりました。瓦小屋から冠山、藪漕ぎながら山歩き。かなり長く感じました！かなりキツかったです！

でも皆サンの笑顔を見ながら、楽しく一緒に登頂できました。とても心地良い山行でした。

また、参加させて下さい。ヨロシクお願いします！



(写真提供 森本 覚)

6. 韓国大邱 八公山岳祭・山岳マラソン大会報告

(事務局長・選手監督 西部 伸也)

当連盟と20年来の交流のある韓国大邱広域市山岳連盟の招きで第50回八公山岳祭・第11回八公山岳マラソン大会に招待選手2名を含む計6名で参加してきました。目下、日韓の政治的関係はぎくしゃくしていますが、山岳連盟同士の交流は何ら変わりなく、現地

では大変な歓待を受けました。今回の訪問では、大邱連盟会長夫人の崔珍姫(チェジニ)さんには通訳としても大変お世話になりました。山岳マラソン大会で招待選手が2名とも入賞したのも嬉しかったです(横井さん女子3位・池本さん男子5位)！

以下、このたびの大邱訪問の概略です。

参加者：山田雅昭(会長)、松島宏(国際部長)、西部伸也、椋本太造(JAC 広島支部)、池本大介、横井八重子(以上招待選手)

日程概略

9/26 木 広島 12時過ぎ出発(松島車)、15時半下関港到着、関釜フェリー乗船(19:45出港、9/30までの半額キャンペーンで2等船室は1人往復9,000円)

9/27 金 8:00 釜山着、チェジニさんと運転手さん出迎え、大邱への移動途中、慶州に立ち寄り世界文化遺産の仏国寺と石窟庵観光・昼食、大邱到着後、山岳図書・装備(バーナー)・八公山写真展示の見学、大邱連盟役員・旧役員と夕食歓迎会

9/28 土 大邱中心部のホテルから八公山麓に移動、印峰(インボン650m)登山(往復1時間)、下山後、山麓の芸術家のアトリエ・「石林」訪問、山岳祭会場・ホテルの近くに移動して昼食、午後、選手は山岳マラソンコース試走、他は大邱連盟加盟団体合同登山に参加(ロープウェイ山頂ピーク820m周回2時間40分)、夕方、山岳祭前夜祭に参加、韓国岳人と交流

9/29 日 9:00 山岳マラソン大会開始・応援・授賞式・昼食、大邱中心部に移動して買い物、15時前大邱出発、16時半過ぎ釜山着、関釜フェリー乗船(21:00出港)

9/30 月 7:45 下関着、11時過ぎ広島駅北口帰着



9/27 下関から釜山へ、慶州仏国寺



9/27 慶州仏国寺(続き)・昼食



9/27 大邱連盟山岳図書&写真展



9/27 夕食歓迎会



9/28 印峰登山、芸術家アトリエ・「石林」



9/28 大邱連盟合同登山



9/28 登山コース、八公山岳祭前夜祭



9/29 山岳マラソン大会



9/29 釜山に移動し出港

『感想文』

(JAC広島支部 椋本 太造)

9/26 日韓情勢がギクシャクしている中、松島さんからお誘いを受けて、こんな時期だからこそ参加しようと思いました。

韓国船『星希』564人乗り2等112号室、約12人部屋に5人独占なので、周りに遠慮することなく大宴会である。酒もまわってきた頃、山田会長の武勇伝の話で盛り上がりました。波も静かで揺れる事も無く釜山

到着。為替レート 1 円→11.05 ウォン-換金手数料

9/27 釜山港では大学で日本語講師をされているチェ・ジニさんが迎えてくれた。慶州(キョンジュ)の世界遺産: 仏国寺(ブルグクサ)、石窟庵(ソックラム)見学。日本では文禄・慶長の役(韓国では壬辰・丁酉の倭乱)の時、仏国寺の木造部分は焼失し、のちに復興している。大邱市中央図書館では、山岳展示会が催されていて、地元山岳会役員に山田会長が加わり、テープカットが行われた。ホテルEOS(会長の弟さん経営)にお世話になりました。近くの参鶏湯の店で地元山岳会員の方と約 20 人で交流会。サムゲタンご馳走様でした。ホテルEOSに帰って山田会長の部屋で大邱学生山岳連盟のイ・ウォンマンさんを交えて2次会。日本語が堪能な熱心な高校の先生がもう一人 10 時過ぎているにも関わらずホテルに来られ、近日広島の高校に生徒を連れて来広されるとの事、すかさず広島でのお世話を約束されているのを見て、韓国交流の深さを改めて感じる事が出来ました。

9/28 午前中は八公山(パルゴンサン)の南東の岩稜ピーク: 印峰(インボン)登山。登り約 20 分の行程である。登り始めの駐車場に大きなクルミの木が実を付けている。落ちて実を割って食べてみる。何人かは初めての事らしく喜んでいて。曇り時々小雨、カップを着るほどでも無い。整備された赤松林のいかにも松茸の生えそうな道を登って行くと、花崗岩の岩峰ピークである。1 時間弱の行程で下山。公衆便所は水洗できれいに整備されていた。麓の芸術家: 冶山(ヤーサン)のアトリエに招待される。安藤忠雄の韓国人の弟子の方が設計され、コンクリート打ちっ放しのデザイン・道祖神の石彫・大きな石柱群など独特な雰囲気創っている。いかにも芸術家のアトリエである。グランドピアノ・充実したオーディオ・壁には 200 号位の迫力ある顔の絵が 3 枚・要所には石彫・なぜかウエイトトレーニング器具・中央には 4~5 m 位の長いテーブル。印峰などの作品集まで頂いて感激である。昼から池本君・横井さんはトレランコースの下見。3 人は八公山手前のピークへ。膝を痛めている山田会長はジニさんと麓に残って散策とか。14:30 地元の山岳会約 30 人と登山開始。広島の里山と同じ雰囲気、約 40 分登った小ピークで 1 人が皆の輪の中で歌い、

皆から大喝采を受けていた。有名な歌手なのだろうか? ゆっくり登って 16:00 標高 820m ピーク着。そこはロープウェイが来ていて観光客でいっぱいである。山田会長と松島さんの友人イ・ヨン Chol さんもロープウェイで来ていた。16:15 反対方向に下山開始。一部沢沿い道を通って今晚のホテルへ 17:10 着。ホテル前がトレラン前夜祭会場である。会場ステージには大邱市連盟と広島県連盟交流 20 周年の横断幕が掛けて有り、ここでも交流振興の深さ知る事が出来る。山田会長・松島さんそれぞれに 20 年の功績に対する感謝状が大勢の前で贈られるのを見て感動しました。会場では地元山岳会の方々が次々に来られ、日本への興味は非常に大きく、交流を大切にされている事を実感する事が出来ました。

9/29 トレラン競技大会。池本君と横井さんは選手として参加。我々 4 人は応援。9:00 スタートで男子・女子一緒に走る。池本君は 1 番に走り去って行った。コースタイム約 1 時間 30 分、10 時 30 分頃にはトップが帰って来る。池本君男子 5 位・横井さん 3 位で共に入賞! 日本のコースに比べて岩登りシーンが多かったようだ。2 人が表彰台に上がってそれぞれ賞状をもらった時には感動しました。近くの店で松茸鍋の昼食の接待。それと皆さんからのお土産物ありがとうございました。これも今まで 20 年の交流の賜物とつくづく感じ入りました。チェ・ジニさんと役員の方、釜山まで見送りありがとうございました。帰りの船も韓国船『星希』、112 号室と部屋まで同じ。乗客 50 人弱位と少ない。釜山大橋のレインボーカラーに見送られて、波静かな海を下関へ。

9/30 予定通り 8:45 下関港下船、一路広島へ。11:10 広島駅北口到着解散。皆さん有難う御座いました。

『八公山岳マラソンに参加して』

(招待選手 横井 八重子)

八公山岳マラソン大会(15.2 km)に参加させてもらいました。実は二回目なのですが、前回分岐を間違え失格となってしまったため、今回は入念に試走して挑みました。

結構な岩山でガシガシ登っていく感じ。やっと登り終わったと思ったら、まだ急な階段が待ち受ける。岩

だらけの頂上からは、絶景のご褒美！しばし見とれた後、また岩に苦戦しながら下る。途中ですれ違う登山者が「ファイティン！」と応援してくれる。温かい！稜線を気持ち良く駆け下り、前回辿り着けなかったチェックポイントに無事着き、心底ほっとする。

そこからは緑深い綺麗なトレイル。何度か川を渡り、異国情緒あふれる寺まで下ったら、最後は笑えるくらい激上りのロード。観光バスの通る横をひたすら登る。気が遠くなった頃、声援が聞こえる。皆さんが迎えてくれる中、なんとか3位でゴール出来ました。

韓国料理はどれも美味しく、毎回たらふく食べ、栄養補給もばっちり。日本語が堪能な方が多く、言葉の苦労がなかったのもありがたかったです。

この度は貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました！

(招待選手 池本 大介)

この度、5月には行われた比婆山スカイランがきっかけとなり、韓国大邱訪問、八公山岳マラソン大会に参加させていただきました。なかなか経験することのない海外でのレース、また大邱広域市山岳連盟の方々の手厚い歓迎にただただ感謝しかなく、大変貴重な経験をさせていただきました。

レースの方は、名前の通り、まさに山岳という岩や石がゴロゴロしているかなりハードなコースでした。これまで自分が経験した山というのは岩や石が少なく柔らかい山場のコースで、それと比べると脚への負担が多く直ぐに体力を奪われていきました。また、日本のレースとは違いコースの案内標示も少なく、前日の試走と、地図だけが頼り。常に自分が走っている所が正しいのか不安で仕方ありませんでした。案の定、一度コースを間違えそこで順位も落としてしまいました。そして、そのままレースを進め男子5位でゴール。

目標にしていた優勝には届きませんでしたでしたが韓国の地で韓国の選手と走れたことは、今後の自分の競技人生に大きな糧となりました。

最後になりましたが、両山岳連盟の方々には、本当に御世話になり感謝しかありません。今後の広島県山岳・スポーツクライミング連盟、大邱広域市山岳連盟

のますますの御発展を祈念しています。ありがとうございました。

7. 国体スポーツクライミング競技報告

(応援団 西部 伸也)

10/4(金)~6(日)、茨城県鉾田市で第74回国民体育大会スポーツクライミング競技が開催され、広島県からは成年男子・成年女子・少年男子の3種別が出場しました。そして、**成年女子がリード種目で決勝に残って7位に入賞**し、2016年の岩手国体(成年男子リード7位、少年女子リード7位・ボルダリング7位)以来3年振りに得点を獲得しました！

出場選手・監督と成績は以下の通りです。

成年男子 監督 大島修子 選手 中峠勝貴・錦織瀬奈
リード35位・ボルダリング38位

成年女子 監督 錦織宏美 選手 山下真由・錦織美里
リード7位・ボルダリング11位

少年男子 監督 延近昌彦 選手 延近陸空斗・田坂桔平
リード16位・ボルダリング12位

なお、東京オリンピックに出場内定した野口啓代選手が地元茨城県から出場とあって、成年女子の競技会場には多くの観客が詰めかけ、ボルダリング会場の体育館に入れなかった観客は屋外の大型モニターで観戦していました。



少年男子と成年男子の監督・選手



成年女子の監督・選手と応援団



少年男子ボルダリング



成年男子・成年女子ボルダリング



成年女子リード。予選(上)では左右別々のルートを別々の順番で登り、決勝では左右近似ルートを同時に登る



成年女子ボルダリング決勝(屋外大型モニター)

以下、出場選手・監督のコメントです。

(少年男子 選手：田坂 桔平)

初めての国体でしたが、多くの方にサポート・応援して頂き競技に集中する事が出来ました。入賞を目指せる選手になるよう、今後も練習を積んでいきます。

(選手：延近 陸空斗)

初めての国体はとても緊張しました。結果は思うようにはいかなかったけど、初日リードはどしゃ降りでもコンディションが悪かったですが、自分の納得のいく登りができたので良かったです。茨城国体に行くことができたのは応援して下さった皆さんのおかげでも感謝しています。また来年も出場できるよう頑張っていこうと思います。

(監督：延近 陸空斗)

選手の二人共、初めての国体で不安や緊張もあったと思いますが、精一杯力を出し切り頑張ってくれました。この経験を活かし、来年に向けて、国体出場、更には入賞を目指して一緒に頑張っていこうと思います。応援して頂いた皆様ありがとうございました。

(成年男子 選手：錦織 瀬奈)

リード、ボルダーともに悔しい結果に終わったので来年に向けてまた練習を積んでいきたいと思っています。

(選手：中埜 勝貴)

今後の課題が見つかったので、今年で終わりと思わず、練習を重ねていきたいと思っています。

(監督：大島 修子)

監督として十分なサポートができず、選手には申し訳なかったです。来年は更に上を目指してガンバ。

(成年女子 選手：山下 真由)

成年女子にあがってから4年目。成績を残せなく長い道のりでした。今回リードで予選を突破することができたのは本当にうれしいです。予選では粘り強い登りができました。ボルダリングは予選突破できませんでしたがこれから少しずつ順位を上げていけるように頑張りたいです。来年は鹿児島国体。県予選で代表になり、ブロックを突破して国体の出場権を獲得できるように頑張っていきたいと思っています。相方のみーちゃ

ん、監督さん、トレーナーさん、そしてたくさんの応援ありがとうございました。

(選手：錦織 美里)

成年女子になって初めて決勝にのこることができましたが、まだまだたくさん悔いが残る登りでした。来年も鹿児島国体に出場し茨城国体のリベンジができるように、また頑張ろうと思います。たくさんの応援、本当にありがとうございました。

(監督：錦織 宏美)

遠くまで応援に駆けつけてくださった皆様、精一杯の頑張りを見せてくれた選手達、そしてトレーナー含めサポートしていただいた方々に感謝です。前回、前々回と全種別を通して広島県へポイントを持ち帰れない大会が続き、何とかポイントをとって帰ることができたこと、監督また競技部長として一安心しています。年々、全国のレベルが上がっている中で、来年も同じように中国ブロックを通過して、本国体でポイントがとれるかはわかりませんが、自分で限界を設けず、選手の皆さん一緒に、精一杯頑張っていきましょう。

8. 全日本登山大会報告

(個人会員 勝村 博己)

9月28日(土)～30日(月)、岐阜県高山市・下呂市を中心に開催された第58回全日本登山大会岐阜大会に参加しましたので報告致します。

今回Aコース乗鞍岳・Bコース西穂高独標・Cコース福地山(1671m 奥飛騨温泉の裏山で、槍穂高・焼岳の展望が得られる山)・Dコース御嶽山飛騨側(濁河コース)・Eコース五色ヶ原の5コースが設定され、私はAコースの乗鞍岳で参加しました。参加者は北海道から沖縄まで全国から163名。コース別にAコース43名・Bコース56名・Cコース19名・Dコース22名・Eコース23名でした。

今回も昨年の京都大会同様に大会内容を公開するために高山市内の一般登山者に乗鞍岳への参加を呼びかけました。28日、高山少年少女合唱団の美しい歌声で歓迎され、14時から開会式、14時30分から穂高岳山荘3代目代表の今川恵さんが「穂高に生きる」の演題で記念講演、15時30分から飛騨山岳会のチベット未登峰「ダ・カンリ」に挑んだ記録映像の観賞。こ

の映画は中国チベットからの登頂記録で国情の厳しさを初めて知らされる映像でした。最後に『穂高の縦走路』(昭和35年撮影の穂高の縦走の映像)も上映され、滝谷の登はんの映像も見ることができました。その後、29日の登山について各コースに分かれて説明があり、Aコースは6班に分かれ、各リーダーを紹介されました。注意事項の説明を受けた後散会、宿泊先のホテルに移動しました。

29日(日)各コースに分かれて7時ホテルを出発、乗鞍畳平に向かう。天気は曇り。雲を見ると雨はふりそうにはないが、ガスがかかって景色はよくない。9時雨具を着て乗鞍へ向け出発。天気のいい時の景色はガスで全然望めず、ガスの中をただひとすりに歩く。途中、小屋で小休止。これからが登山道に入る。険しさはなく、歩きやすく皆さんについて歩けた。11時30分頃山頂着。記念写真を撮ってすぐ頂上小屋へ降る。ここで下の小屋で昼食をとるグループに分かれ、私は頂上小屋で食事をとった。ドリップコーヒーがとてもおいしかった。時折ガスが抜けて日が差し込んだがすぐガスに覆われた。寒くなったので12時15分下山開始。このころになると一般登山者が増えてきた。下の小屋に到着。暖かい汁粉を飲む。とてもおいしかった。急遽雷鳥の研究者からの説明があり、今日はガスで見つけることができるかもしれないというガイドだったが、見つけることはできなかった。私の後ろの女性が雷鳥の子供を見つけたそうだが、すぐ隠れてしまったらしい。13時45分頃畳平に下山。結局はガスの中を歩いただけで味気ない山行だった。ただ雨に降られなかったのが幸이었다。14時10分ホテルに向けバスは出発、発車して間もなく雨が降り出した。15時40分ホテル着。荷物を整理して入浴、山の汗を流した。19時から今日の山行を語り合い懇親を深めた。21時次回の千葉大会での再会を祈念して閉会。

30日朝食後自由解散、それぞれの地へ。私はオプション観光で白川郷に参加し思い出を残し高山を後にした。岐阜県山岳連盟、東武トップツアーズの皆様お疲れ様でした。ありがとうございました。大会後単独で、飛騨古川を散策、犬山城犬山市内を散策、金華山岐阜城登山、新城市の鳳来寺山の石段1450段に挑戦、踏破して10月4日に三原に帰りました。今回はガス

のためにいい写真が撮れませんでした。申し訳ありません。

9. 岳連短信

1. 寄贈御礼

三原山の会『筆影』No. 475 (10月号)

福山山岳会『会報』R元. 10月号

広島やまびこ会『やまびこ』No. 762 (11月号)

広島山岳会『山嶺』第849号 (R元. 8月)

2. 10～11月の行事案内

(集合時間・場所等の詳細は当連盟ホームページの「岳連カレンダー」のページを開き各行事をクリックすると確認できます。不明のものについては事務局にお尋ねください。)

10/20 県民ハイキング (高松山)

10/23 岳連例会山行 (大野権現山・おむすび岩)

10/25～27 中国高校登山大会 (島根県三瓶山)

10/30 全員協議会 (広島市西区民文化センター)

11/9 全国高校選抜クライミング選手権県予選 (CERO)

11/17 県民ハイキング (牛田山)

11/20 岳連例会山行 (上勝成山～下勝成山、鷹巣山)

11/29～30 登山部顧問等安全登山講習会 (場所未定)

11/30 岳連例会山行 (高見山・船倉山)

3. 「平田恒雄さんを囲む会」報告

9/21(土)午後、広島市中区八丁堀の中華料理『長安』で「平田恒雄さんを囲む会」が開かれ、30名の方が出席されました。また、出席できなかった方からはメッセージも寄せられました。来年の2月で85歳になる平田さん、登山は引退されましたが、「平田節」は健在で、出席者一同を安心させてくれました。会の幹事役の岡谷さん、ご苦労様でした。



4. 山岳・スポーツクライミングセミナー2019 案内
昨年度、平山ユージさんをお招きし、従来の『山岳・辺境文化セミナー』の名称を変えて開催した当セミナーですが、本年度は当連盟理事・広島登山研究所代表の松島宏さんを講師に迎えて10/19(土)午後、広島市西区民文化センターにおいて開催します。申込がまだの方はお急ぎください。

編集部より

○この会報は、皆さんの提出原稿を編集して発行しています。岳連行事・山の情報・行事参加の感想など気軽にお寄せください。寄稿の場合は所属、役職を記入下さい。編集の都合で一部手直しすることがあります。ご了承ください。

○会員団体で会報発行されたら岳連事務局まで恵送下さい。随時紹介します。

○この会報はメール配信しています。配信ご希望の方は岳連事務局までメールアドレスをお知らせ下さい。

(左) 出席者への記念のしおりにサインする平田さん